

会報

No. 27

平成4年3月15日

京都府図書館等連絡協議会

事務局

京都市左京区岡崎成勝寺町9
京都府立図書館内
TEL(075)771-0069



わたしの中間報告

八幡市立八幡市民図書館
男山市民図書館
館長 澤田 種治

昭和三十五年の夏休みに冷房完備でない大学の教室で、これまであまりなじんでない図書館学の講義を猛暑と闘いながら私は聞いておりました。当時の館界の大先輩が熱心に語って下さった講義よりも、暑かった日々のことが鮮明に思い出される司書講習の時からもう三十年が過ぎようとしております。

当時の私は母校の高等学校の学校司書をしており、学校司書制度の法制化をすすめるため、仲間とともに司書実務研究会を結成して、研修会を開催したり、教育委員会に要望書を提出したり、学校図書館研究集会で実践報告を行ったりしておりました。司書講習には自分たちの実力を付けることが目的で、研究会の仲間とともに夏休みを利用しての受講でした。私たちが三十年前に要望した学校司書の法制化は今日でもまだ実現しておりません。私はその後、大阪市に中央図書館が開館されたのにともない、本格的な図書館の仕事を経験したいために公立の図書館に異動することになりました。七年にわたり私を育ててくれた学校図書館を

離れることには、大きな決断がともないました。公立図書館に移ってからまもなく「中小レポート」が刊行されました。この本によって司書講習で学んできた成果を発揮する機会がやって来ました。とくに東京都下の都市の図書館がこれを実践して、成果をあげていることに非常に感動したことを覚えております。

やがて私が勤めておりました大阪市の図書館分館にもこのレポートをとり入れる時がきました。昭和三十一年に着任した館長がこの本の推進者だったこともあって、当時は貸出奉仕を行っていなかった図書館の活性化を目ざして検討の結果、まず団体貸出を始めることになりました。これの担当者に私が選ばれ、そこの仕事は、これまで図書館との交わりのない人々を対象にすることで、勤労者、主婦、寮生などのグループなどに団体で図書館の本を利用してもらうことを主な仕事とするものでした。

団体貸出の活動を開始した当初の私は、まず利用案内を作り、これを

持って図書館の近くの職場を訪れて職場利用を勧めたり、各種の団体名簿を手がかりに、女性や青年の団体役員に電話連絡や戸別訪問をして宣伝につとめました。その成果はやがて実り、初年度は五十七の団体から利用申請がありました。この当時は巡回車で配本する制度もなく、団体の代表者がその団体の構成員とともに図書館まで毎月本の交換に通っておりました。明日の本の交換日に貸出す本が不足して宿直を利用して遅くまで本の整理をして準備をしたことや、団地の子ども文庫まで電車に乗って本を届けたことなど懐かしい思い出とすばらしい体験をこの担当で得ました。またこの時に子ども文庫と出会い、子どもの本の知識を持つ機会となりました。私がこの仕事から得たものは、きめの細かな活動をすることで利用者から信頼されてその事業が大きく発展することだと思ふに至ったことです。

司書講習で学び、図書館の仕事で利用者から受けた多くの体験をふまえて、住民の暮らしに役立つ親しみやすい図書館活動を推進するために、私はこれからも努力を重ねたく思っております。



第三回理事會報告

第三回理事會が三月四日、府立図書館で開催されました。

第二回の理事会以降の活動について、各専門委員会より報告された後平成三年度の会務報告(案)決算(見込)について協議がされました。報告事項として、相互協力委員会からは、相互協力実態調査報告書の発行と三月十日開催予定の相互協力の担当者会議について、広報委員会からは、会報二六号の発行と二七号の準備状況について、研修研究委員会からは、京都家庭文庫地域文庫連絡会との交流会について報告されました。

会務報告の討議の中では、移動図書館車の設置や、新館の建設の中で大きく利用を伸ばし、住民の要求に応えてきている各図書館・図書室の様子が交流され、市町村長や教育長に対する要望活動の中でも、行政の中での図書館に対する位置づけが高まっている事が報告されました。

会議の中ではその他、新理事長の選出状況について確認し、日本図書館協会創立百周年記念協賛事業について、検討をすることが決定しました。また、協議会の活動が活発化してくる中で、分担金の額について検討を始めることとなりました。

平成三年度 京都府図書館等連絡協議会 事業報告

◎第一回理事会

日時 平成三年五月十四日
場所 京都府立図書館
協議事項

- 1 平成二年度会務報告(案)及び平成二年度収支決算報告(案)について
- 2 平成三年度事業計画(案)及び平成三年度予算(案)について
- 3 平成三年度定期総会について
- 4 平成三年度表彰職員について
- 5 その他

◎平成三年度定期総会

日時 平成三年六月七日
場所 八幡市立八幡市民図書館
総会

- 1 平成二年度 会務報告
- 2 平成二年度 収支決算
- 3 監査報告
- 4 平成三年度 事業計画(案)
- 5 平成三年度 予算(案)
- 6 その他

◎図書館等職員表彰式

十七名の職員の表彰

◎記念講演会

「生涯学習時代の図書館の課題」
講師 上杉 實氏(京大教授)

◎施設見学 八幡市民図書館見学

◎「会報25号」

平成三年八月一日発行

◎一泊実務研修会

日時 平成三年十月十七・十八日
場所 アイリンス・イン城陽
講演 「魅力ある図書館」
講師 澤田正春氏

(滋賀県立図書館長)

「雑誌・新聞の収集について」
「図書館職員の接遇について」

発表者 松宮 透氏

(八日市市立図書館司書)

「図書館の建築・館内レイアウト」

講師 鬼頭 梓氏

(鬼頭建築設計事務所長)

◎第二回理事会

日時 平成三年十一月十五日
場所 京都府立図書館
1 「公立図書館振興に関する要望書」等について

- 2 平成三年度上半期事業について
- 3 平成四年度・五年度役員選出について

◎「会報26号」

平成三年十一月二十五日発行

◎研修研究委員会

※京都家庭文庫地域文庫連絡会との交流会
日時 平成四年二月二十五日
場所 田辺町立中央図書館

◎第三回理事会

日時 平成四年三月四日
場所 京都府立図書館
協議事項

- 1 平成三年度会務報告(案)について
- 2 平成三年度収支決算(見込)について
- 3 平成四年度・五年度役員の出について
- 4 日本図書館協会創立百年協賛事業について
- 5 専門委員会報告
- 6 その他

◎相互協力担当者会議

日時 平成四年三月十日
場所 京都府立図書館
内容 相互貸借実態調査報告等

◎「会報27号」

平成四年三月十五日発行

日本図書館協会 全国研究集会等一覧

※全国図書館大会
日時 平成四年十一月十七日(火)
十九日(木)

場所 名古屋市

※全公図・整理部門

日時 平成四年九月十日(木)
十一日(金)

場所 富山市高志カルチャーホール

※全公図・奉仕部門

日時 平成四年九月十七日(木)

十八日(金)

場所 水戸市県民文化センター

※全公図・参考事務分科会

日時 平成四年十月一日(木)

二日(金)

場所 福岡市福岡サンパレス

※全公図・児童図書館分科会

日時 平成四年十月八日(木)

九日(金)

場所 青森市文化会館

「人権を学ぶ図書展」

を実施して

福知山市立図書館

本館では、十二月の人権週間に「人権を学ぶ図書展」を十二月七日から十五日まで実施しました。



一九八四年一月十日、国連において世界人権宣言が決議され、「人類社会のすべての構成員の固有の尊厳と、平等で譲ることの出来ない権利とを承認することは、世界における自由、正義および平和の基礎である」と宣言されてから四十三年になります。

世界人権宣言の基本精神は、あらゆる差別をなくし、人権を確立することこそが、恒久平和を実現する道であります。そして、これを実現するために、国際連帯を重視することにあります。

宣言が採択されてから今日まで、国際人権規約や、人権差別・女子差別撤廃条約など数々の条約が採択されております。

しかし、今なお南ア・アパルトヘイトがあり、わが国には、部落差別・在日外国人・障害者問題など、深刻な差別問題が生きており幸せに生きる権利を疎外しています。私達一人ひとりの幸福な生活を実現するために、私達も今一度人権について正しい認識と理解を深め、図書館活動を通して啓発していくことが大切ではないでしょうか。



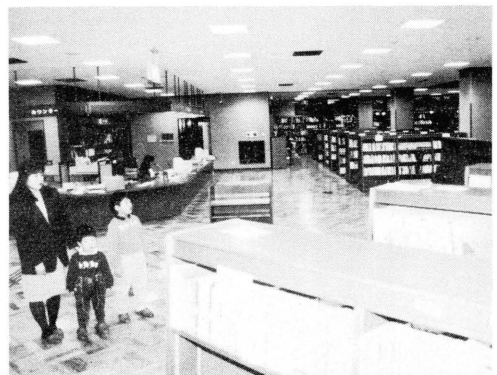
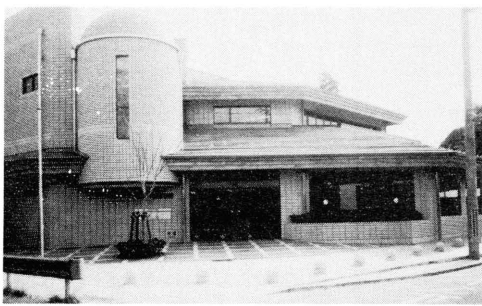
ニ ュ ー ス ・ N e w s

木津町中央図書館 新設オープン

木津町では、木津小学校前に建設中だった木津町中央図書館が完成、二月二十八日に開館しました。

この図書館は、旧図書館が老朽化し、手狭になったため、関西文化学術研究都市の中心地にふさわしい未来型図書館をめざして新築しました。

新しい図書館は、鉄筋コンクリート二階、地下一階建て、延べ千九百五平方メートル。「明るく」「広く」「きれいな図書館として、町民の皆さんの利用が始まりました。



ハイテクを駆使した未来型図書館を目指して、コンピューター図鑑を府内で初めて設置しました。

これは、パソコンで見える図鑑で、分厚い図鑑のデーターをまるごとソフト化し、ワンタッチで調べたい項目をパソコン画面に呼び出すことができます。

読みたい本の書名または著者名を入力すると館内の本の位置を画面で図示してくれるコンピューター端末機を六月から入れられる予定です。

また、本の著者のフルネームが不明のとき、書名などの一部を入力すれば書名、著者名などがわかる検索システムも導入しています。

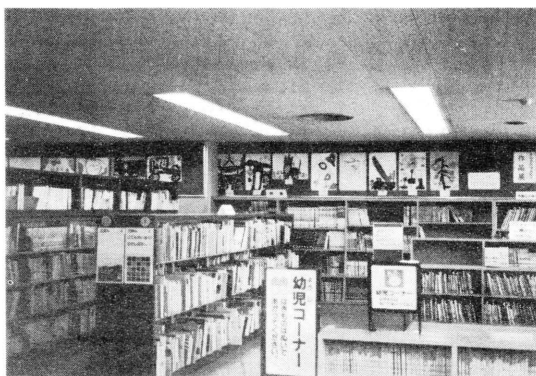
ビデオ、CDコーナーはワイヤレスヘッドホンで楽しめる図書館です。

図書館めぐり

京都市東山図書館

東山図書館は、東山連峰を背に、数多くの名所旧跡に囲まれた清水坂の麓に在ります。昭和五十八年五月の開館以来八年、蔵書数は五万冊を超え、平成二年度の利用状況は（利用者数）五万二千八百六十六名、（貸出冊数）十二万三千八百六十三冊を数えました。

本館の位置する東山区は、京都市内における老人独居世帯の割合が有



数であるうえ、近年の地価高騰に伴う人口の減少が著しい地域であります。それに伴う利用者減少のための対策として、住民のニーズを反映した選書やレファレンスの充実を図るとともに、おはなしの会（紙芝居と読み聞かせ・ビデオ上映等）や時期に因んだ図書のコナーを設置するなど、各種行事の実施にも力を注いでおります。また、本館には壁面の空間を利用したミニギャラリーがあり、区内の方々の絵画・水墨画・写真等の作品を常時展示しており、「絵のある図書館」として来館者に親しまれております。

専門委員会ニュース

週休二日制が定着しつつあり、平成四年度からは、学校五日制も実施される予定の今日、図書館の果たす役割は今まで以上に大きくなってまいります。本館といたしましても生涯学習社会に対応し、かつ住民に愛され、親しんで利用されるためにも、より一層励んでまいりたいと考えております。

相互貸借四倍に

府立の連絡協力車への期待高まる

相互協力委員会は、先に実施しました「相互貸借実態調査」のまとめをすすめていきます。

今回の調査結果の特徴的なことは相互貸借冊数が前回調査（昭和六十一年）と比較して約四倍になっていることが明らかにしたことです。その背景として、南部地域へ府立の連絡協力車の運行が、月二回になったことがあげられます。

なお、今回の調査で、相互貸借のあり方やネットワークの整備などの課題、府立の機能の一層の充実、府立総合資

料館の資料貸出などについての要望も寄せられました。

詳細については、近く調査報告書を配布しますので活用下さい。

また、委員会では、各館の実態を交流してはどうか、その話し合いも行われ、次のとおり担当者会議を開くことになりました。

＊相互協力担当者会議

とき 三月十日（火）午後1・30

ところ 京都府立図書館研修室

内容 相互貸借実態調査報告

相互貸借実施要項について

各館からの報告・協議

以上の内容で開かれました。

（相互協力委員長 森 善之）

広報委員会だより

京図連広報委員会は、この二年間京都市町村（図書館等）の機関紙として、活発な活動や情報を各加盟館に会報で紹介することができました。これには、加盟館の皆様方からの情報を提供して、ご協力くださいましたお陰と、広報委員一同、感謝致しております。

今回の会報27号を発行致しまして四月より新メンバーと交替することになります。この間、ご執筆を頂きました皆様に、心からお礼を申し上げます。

（広報委員長 富田 純造）